

[Name of the Device]

A MAGNETIC FASTENER AND A BAG

[Abstract]

[Purpose] To provide at low cost a magnetic fastener having a protection structure adapted to demonstrate a sufficient protection function of a surface of a fitting device and to have sufficient magnetic force, and to provide a bag utilizing the magnetic fastener.

[Structure] A magnetic fastener having a male fitting 1 provided with a projection 1A projecting at a center of a base board 1B thereof and a female fitting 2 provided with a concave opening 2A at a center of a base board 2B in which the projection 1A fits the concave opening 2A to secure them through magnetic force, and further in which an outer peripheral surface and a top surface of the base board 2B of the female fitting 2 are formed into a cap-shape having a standard contour corresponding to an outer contour of the base board 2B, an opening 4A corresponding to the concave opening 2A is provided at a center of the top surface, and a cover 4 made of substantially thin transparent plastic is provided in a fitting manner.

[Scope of the Claims]

[Claim 1]           A magnetic fastener having a male fitting (1) provided with a projection (1A) projecting at a center of a base board (1B) and a female fitting (2) formed with a concave opening (2A) at a center of a base board (2B) in which the male fitting and the female fitting are secured through magnet force when the projection (1A) fits the concave opening (2A):

          wherein an outer peripheral surface and a top surface of the base board (2B) of the female fitting (2) are formed into a cap-shape having a standard contour corresponding to an outer contour of the base board (2B);

          wherein an opening (4A) corresponding to the concave opening (2A) is provided with the top surface at the center thereof; and

          wherein a cover (4) formed of substantially thin transparent plastic is provided in a fitting manner.

[Claim 2]           A bag having a magnetic fastener in which a bag body (5) is provided with a flap (6) in an openable/closable manner, the bag body (5) is provided with a female fitting (2) formed with a concave opening (2A) at a center of a column-shaped base board (2B), the flap (6) is provided with a male fitting (1) including a projection (1A) projecting at a center of a disc-shaped base board (1B), and the female fitting (2) and the male fitting (1)

are secured through magnet force when the projection (1A) fits the concave opening (2A) at a time of closing the flap (6):

wherein an outer peripheral surface and a top surface of the base board (2B) of the female fitting (2) are formed into a cap-shape having a standard contour corresponding to an outer shape of the base board (2B);

wherein the top surface has at a center thereof an opening (4A) corresponding to the concave opening (2A); and

wherein a cover (4) formed of substantially thin transparent plastic is provided in a fitting manner.

[Brief Description of Drawings]

[Fig. 1]                      Fig. 1(a) and Fig. 1(b) are perspective views illustrating an example of an magnetic fastener according to the present device, with portions thereof being disassembled.

[Fig. 2]                      Fig. 2 is a perspective view of a bag according to the present device..

[Explanations of Letters or Numerals]

1 male fitting; 1A projection; 1B base board; 2 female fitting; 2A concave opening; 2B base board; 4 cover; 4A opening; 5 bag body; 6 flap; 7, 8 mounting sections

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3014935号

(45) 発行日 平成7年(1995)8月22日

(24) 登録日 平成7年(1995)6月14日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

A 4 5 C 13/10

識別記号

A

Q

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願平7-366

(22) 出願日 平成7年(1995)2月6日

(73) 実用新案権者 595018444

株式会社サンゼ

東京都豊島区千川1-1-12

(72) 考案者 本多 実

東京都豊島区千川1-1-12 株式会社サンゼ内

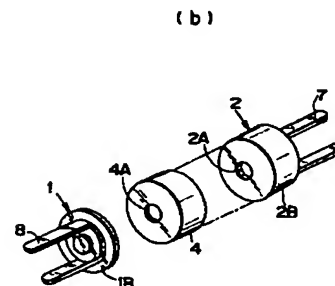
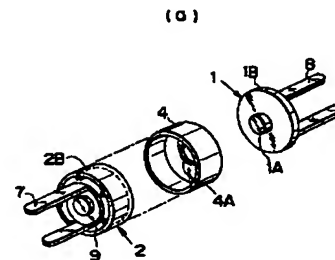
(74) 代理人 弁理士 西村 毅光

(54) 【考案の名称】 マグネットキャッチとバッグ

(57) 【要約】

【目的】 極めて低コストで、しかも、十分な金具表面の保護機能を発揮でき且つ十分な磁着力を有するように工夫した保護構造のマグネットキャッチとこれを利用したバッグを提供する。

【構成】 台板1Bの中央に突起1Aが突設された雄金具1と台板2Bの中央に凹孔2Aが形成された雌金具2とが突起1Aと凹孔2Aとを嵌合させた状態で互いに磁着するマグネットキャッチにおいて、雌金具2の台板2Bの外側周面と正面には、該台板2Bの外形に沿った定形性を有するキャップ形をなし、正面の中央には前記凹孔2Aに沿った開口4Aを有し、実質的に透明な薄手のプラスチックにより形成されたカバー4が嵌合により設けられている。



(2)

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 台板（1B）の中央に突起（1A）が突設された雄金具（1）と台板（2B）の中央に凹孔（2A）が形成された雌金具（2）とが突起（1A）と凹孔（2A）とを嵌合させた状態で互いに磁着するマグネットキャッチにおいて、雌金具（2）の台板（2B）の外側周面と正面には、該台板（2B）の外形に沿った定形性を有するキャップ形をなし、正面の中央には前記凹孔（2A）に沿った開口（4A）を有し、実質的に透明な薄手のプラスチックにより形成されたカバー（4）が嵌合により設けられていることを特徴とするマグネットキャッチ。

【請求項2】 バッグ本体（5）に開閉自在に蓋（6）が設けられ、バッグ本体（5）には、円柱状台板（2B）の中央に凹孔（2A）が形成された雌金具（2）が設けられ、蓋（6）には、円板状台板（1B）の中央に突起（1A）が突設された雄金具（1）が設けられ、蓋（6）の開鎖時において前記突起（1A）と前記凹孔（2A）とを嵌合させた状態で互いに磁着するマグネットキャッチを有するバッグにおいて、前記雌金具（2）の台板（2B）の外側周面と正面には、該台板（2B）の外形に沿った定形性を有するキャップ形をなし、正面の中央には前記凹孔（2A）に沿った開口（4A）を有し、実質的に透明な薄手のプラスチックにより形成されたカバー（4）が嵌合により設けられていることを特徴とするバッグ。

2

【図面の簡単な説明】

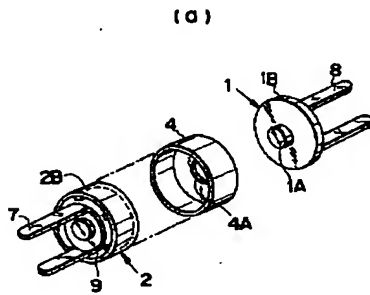
【図1】（a）及び（b）は、本考案のマグネットキャッチの一実施例を示す一部分解した斜視図である。

【図2】本願考案のバッグの斜視図である。

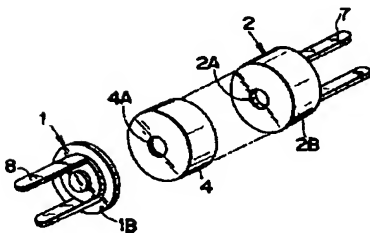
【符号の説明】

1 雄金具、1A 突起、1B 台板、2 雌金具、2A 凹孔、2B 台板、4 カバー、4A 開口、5 バッグ本体、6 蓋、7、8 装着部、

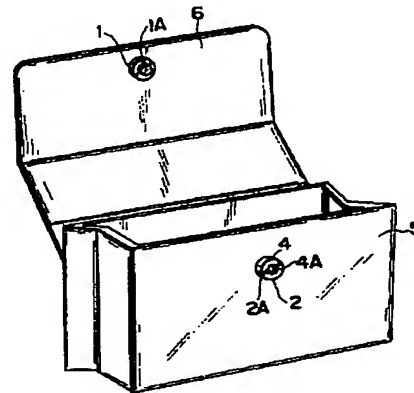
【図1】



(b)



【図2】



**【考案の詳細な説明】****【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、ハンドバッグの開閉部などに装備されるマグネットキャッチと該マグネットキャッチを設けたバッグに関するものであり、特に、雄・雌金具の何れか一方、もしくは双方にマグネットを備えていて、上記マグネットの磁力により、両金具の連結状態を保持するようにしたマグネットキャッチに関するものである。

**【0002】****【従来技術】**

ハンドバッグ、特に、女性用ハンドバッグは、その意匠美が重要であり、仮にハンドバッグに取付けられているマグネットキャッチの金具、取り分け、目立ち易いハンドバッグ本体側の金具でも、そのメッキが剥がれたり、光沢を損なうような表面傷ができると、バッグ全体としての意匠美まで損なうことになる。その結果、製造、販売の段階では、商品価値を落とし、また、使用段階では、使用者が、ハンドバッグその物の携帯を厭う事態となって、実用寿命を短縮することになるが、マグネットキャッチは、バッグの開閉に係わるために、その使用頻度が著しく高いので、金具表面の損傷を受け易い状態にある。

**【0003】****【考案が解決しようとする課題】**

しかし、マグネットキャッチ自体のコストは、非常に低く抑えられているので、マグネットキャッチの雌・雄金具表面の特別な保護のための処置に、通常の加工技術を加えるコスト上の余裕はない。

また、マグネットキャッチの雌・雄金具を周知の熱収縮性プラスチックフィルムによって被覆させることが考えられるが、加工にコストがかかるばかりでなく、互いに嵌合する雄金具の突起又は雌金具の凹孔の少なくとも一部までも熱収縮性プラスチックフィルムによって被覆されるため、磁着時の嵌合が甘くなり強力な磁着作用が得られないという課題がある。

**【0004】**

**【考案の目的】**

本考案は、上記事情に基づいてなされたもので、強力な磁着作用が得られ、極めて低コストで、しかも、十分な金具表面の保護機能を発揮できるように工夫した保護構造のマグネットキャッチとこのマグネットキャッチを用いたバッグを提供しようとするものである。

**【0005】****【課題を解決するための手段】**

上記の課題を解決するための手段を実施例に対応する図を参照して説明する。

すなわち、請求項1の考案は、マグネットキャッチに係り、台板（1B）の中央に突起（1A）が突設された雄金具（1）と台板（2B）の中央に凹孔（2A）が形成された雌金具（2）とが突起（1A）と凹孔（2A）とを嵌合させた状態で互いに磁着するマグネットキャッチにおいて、雌金具（2）の台板（2B）の外側周面と正面には、該台板（2B）の外形に沿った定形性を有するキャップ形をなし、正面の中央には前記凹孔（2A）に沿った開口（4A）を有し、実質的に透明な薄手のプラスチックにより形成されたカバー（4）が嵌合により設けられていることを特徴としている。

**【0006】**

また、請求項2の考案は、バッグ本体（5）に開閉自在に蓋（6）が設けられ、バッグ本体（5）には、円柱状台板（2B）の中央に凹孔（2A）が形成された雌金具（2）が設けられ、蓋（6）には、円板状台板（1B）の中央に突起（1A）が突設された雄金具（1）が設けられ、蓋（6）の閉鎖時において前記突起（1A）と前記凹孔（2A）とを嵌合させた状態で前記雌金具（2）と雄金具（1）とが互いに磁着するマグネットキャッチを有するバッグにおいて、前記雌金具（2）の台板（2B）の外側周面と正面には、該台板（2B）の外形に沿った定形性を有するキャップ形をなし、正面の中央には前記凹孔（2A）に沿った開口（4A）を有し、実質的に透明な薄手のプラスチックにより形成されたカバー（4）が嵌合により設けられていることを特徴としている。

**【0007】****【作用】**

このような構成では、雌金具2の表面のメッキ膜は、カバー4で保護され、外側からの衝突による損傷を回避できる。しかも、外観上は、雌金具2のメッキ膜の表面光沢が、実質的に透明な薄手のプラスチックカバー4を通して意識させない状態で観察でき、バッグの意匠美に寄与することができる。また、単に、定形性を有するキャップ形カバー4を雌金具2に被嵌するだけなので、実質的に製造コストを押し上げることはない。さらに、カバー4には、雌金具2の凹孔2Aに沿った開口4Aを有しているので、磁着時の嵌合が甘くなるということがない。

#### 【0008】

##### 【実施例】

以下、本考案の実施例を面を参照しながら具体的に説明する。

図1は、実施例のマグネットキャッチの分離斜視図であり、円板状台板1Bの中央に突起1Aが突設された雄金具1と円柱状台板2Bの中央に凹孔2Aが形成された雌金具2とが、突起1Aと凹孔2Aとを嵌合させた状態で互いに磁着する構造である。しかして、雌金具2の台板2Bの外側周面と正面には、カバー4が嵌合により設けられており、該カバー4は、台板2Bの外形に沿った定形性を有する円筒キャップ形をなし、正面の中央には前記凹孔2Aに沿った開口4Aを有し、実質的に透明な薄手のプラスチックにより形成されている。

雌金具2の台板2Bの背部と雄金具1の台板1Bの背部には、夫々、2本の舌片状の装着部7、8を備えている。

#### 【0009】

図2は、上記のマグネットキャッチを備えたバッグであり、バッグ本体5に開閉自在に蓋6が設けられ、バッグ本体5には、上記の雌金具2が装着部7により設けられ、蓋6には、上記の雄金具1が装着部8により設けられ、雌金具2の台板2Bには、上記のカバー4が嵌合により設けられている。

バッグは、蓋6の閉鎖時において、前記突起1Aと前記凹孔2Aとを嵌合させた状態で前記雌金具2と雄金具1とが互いに磁着する。

#### 【0010】

上記実施例において、カバー4は、透明、着色透明、半透明等の実質的に透明

なプラスチックにより形成される。このカバー4は、雌金具2の台板2Bに嵌合により被着されるが、嵌合時に接着剤又は静電気による結合構造を併用し、あるいは嵌合後に加熱等により収縮させて密着させるようにしてもよい。

#### 【0011】

##### 【考案の効果】

以上説明したように、本願の請求項1及び2の考案によれば、マグネットキャッチの雌金具2の台板2Bに、該台板2Bの外形に沿った定形性を有するキャップ形をなし、正面の中央には前記凹孔2Aに沿った開口4Aを有し、実質的に透明な薄手のプラスチックにより形成されたカバー4を嵌着したので、雌金具2の表面のメッキ膜がカバー4で保護され、外側からの衝突による損傷を回避できる。しかも、外観上は、雌金具2のメッキ膜の表面光沢が、実質的に透明な薄手のプラスチックカバー4を通して意識させない状態で観察でき、バッグの意匠美に寄与することができる。また、単に、定形性を有するキャップ形カバー4を雌金具2に被嵌するだけなので、別途成形したカバー4を雌金具2に嵌合させるだけの手間がよく、実質的に製造コストを押し上げることにはならず、安価である。さらに、カバー4には、雌金具2の凹孔2Aに沿った開口4Aを有しているので、周知の熱収縮性プラスチックの熱収縮による保護のように熱収縮性プラスチックが雌金具2の凹孔2Aの少なくとも一部を覆う等の不都合もなく、磁着時の嵌合が甘くなるということがない。

また、本願の請求項2の考案によれば、マグネットキャッチの雌金具2をバッグ本体5の側に設け、この雌金具2の円柱状台板2Bに上記のカバー4を嵌合せしめたので、蓋6の開閉時に雌金具2が移動せず、またカバー4は円柱状に形成された台板2Bに比較的深く嵌合しているので、使用中カバー4が外れたりする不都合もない。